

事務事業名		さんりく大船渡人会運営支援事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																											
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目																											
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興						☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和60 年度～)	会計	款	項	目	事業																						
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実																																	
根拠法令						☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	02	01	06	24																							
所属	部課名	企画政策部企画調整課																																	
	課長名	新沼 徹																																	
	係名	地域交流係	電話	0192-27-3111																															
	担当者	新沼 裕一	内線	216																															
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・さんりく大船渡人会総会開催、岩手県人連合会諸行事への参加等の活動に対する支援(案内通知の発送、集いの準備・手伝い等) ・市政の状況やイベント等の情報を提供するため、「ふるさとだより」を作成したうえ人会会員などへ送付する。(6ページもの、夏・冬の年2回) ・事業費は、人会への補助金や「ふるさとだより」印刷代、総会への負担金・旅費など。 ・補助金の支出先である人会の活動方針は次のとおり。 ①会員相互の親睦と交流を深めるため、総会を開催する ②郷土の発展に寄与するため、観光地や地元産品の紹介・斡旋並びに企業誘致の情報等を提供する ③さんりく大船渡人会会員及び各界著名人の講演会を開催する ④岩手県人連合会の諸行事に参加し他組織との交流を図る ⑤気仙地区在京人会等との交流を図る																																			
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>												総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																																	
		都道府県支出金																																	
		地方債																																	
		その他																																	
		一般財源																																	
	事業費計(A)	0																																	
人件費	正規職員従事人数																																		
	延べ業務時間																																		
	人件費計(B)	0																																	
トータルコスト(A)+(B)		0																																	

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・総会の開催、岩手県人連合会諸行事への参加等の活動に対する支援 ・年2回(7月・2月)ふるさとだよりの作成及び発送 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・首都圏さんりく大船渡人会の集いの開催、岩手県人連合会諸会議への参加等の活動に対する支援 ・年2回(7月・2月)ふるさとだよりの作成及び発送				⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
				名称					単位	
				ア	総会、役員会への市からの出席回数				回	
				イ	送付部数(2回計)				部	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 さんりく大船渡人会				⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)						
				名称					単位	
				カ	会員数				人	
				キ						
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 円滑に事業運営してもらう。				⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)						
				名称					単位	
				サ	総会出席者数				人	
				シ	講演会等出席者数				人	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・当市の魅力がPRされ、認知度が高まる。				ス						
(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	920	947	969	1,015	965	965
			事業費計 (A)	千 円	920	947	969	1,015	965	965
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	530	530	530	550	530	530	
		人件費計 (B)	千 円	2,120	2,120	2,120	2,200	2,120	2,120	
	トータルコスト(A)+(B)		千 円	3,040	3,067	3,089	3,215	3,085	3,085	
	⑤活動指標		ア	回	2	2	2	2	2	2
			イ	部	2471	2397	2380	2440	2600	2600
			ウ							
⑥対象指標		カ	人	1198	1187	1215	1233	1250	1250	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	人	190	159	116	174	180	180	
		シ	人	-	-	-	-	-	-	
		ス								

事務事業ID	0343	事務事業名	さんりく大船渡人会運営支援事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
昭和60年10月「在京大船渡人会」として発足。大船渡市と旧三陸町の合併により、平成14年9月、「在京大船渡人会」と「ふるさと三陸人会」が合併、新たな「さんりく大船渡人会」が発足した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
合併後も新規入会者が少なく、会員の高齢化が進んでいる。 近年、さんりく大船渡人会の役員を中心に、東京タワーさんままつりにご協力いただいている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
さんりく大船渡人会への支援を通じて、観光客の誘客を図るよう意見がある。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	さんりく大船渡人会の活動を通して、首都圏を中心に大船渡の紹介をしていただいている状況にあり、当市のPRにもつながっていることから、産業及び観光振興に結びついている。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	さんりく大船渡人会会員の出身地として、会員の皆さんに当市の現状など必要な情報を提供するとともに、当市の産業及び観光振興上、またふるさと納税に関し、さんりく大船渡人会の協力をいただくことも多く、当市として相応の支援をしていく必要がある。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	支援先を個々の登録会員ではなく、さんりく大船渡人会とするのは、地元出身者の公平性の確保や、経費節減の面から適切である。また、会への支援を行うことは、会の円滑な事業運営に資することに他ならず、対象、意図ともに適切である。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	さんりく大船渡人会事務局とともに、新規会員の募集を幅広く呼びかけることにより、事業参加者の増が期待できる。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	さんりく大船渡人会会員を通じて首都圏へのイベントや物産などのPRを行うこともあり、支援を休止した場合、首都圏在住の関係者への情報量が低下する。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	市内出身者のみを対象とした団体は他にないことから、人的なつながりを活用した情報提供手段はこの事業だけである。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	毎年、さんりく大船渡人会の方々におかれては、役員をはじめ、首都圏で開催する当市の観光イベントに積極的に参加・協力する動きが見られる。そうした姿勢に応えるためにも、事業費の削減は難しい。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	事務局はさんりく大船渡人会内にあり、市は名簿管理、案内状の発送事務や総会資料の作成、総会会場での受付業務などについて支援している程度であり、これ以上の削減は不可能。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	総会では会員の参加者負担を実施しており、不公平とは言えない。	

事務事業ID	0343	事務事業名	さんりく大船渡人会運営支援事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 一層活発化するよう支援を継続する必要がある。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 「ふるさとだより」では、観光・イベント情報に加えて、震災復興に関する情報、交流事業や起業支援情報などを掲載し、内容をより一層充実を図るとともに、市広報やホームページ等を通じて、新規会員の加入促進を図る。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者 企画政策部企画調整課長	新沼 徹

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 新規会員募集の呼びかけに工夫が必要である。																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 市の広報やホームページを通じて、地元出身者のさんりく大船渡人会への加入を呼びかける。役員と協力して、より魅力的な組織となるよう創意工夫するとともに、移住・定住の促進についても連携する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
